

豊南小学校・校長室だより

令和元年（2019年）12月9日

発行 中森啓之

本を読むことの大切さ

先日公表された OECD（経済協力開発機構）による学習到達度調査（PISA）の結果をテレビや新聞でご覧になった方も多いと思いますが、「数学的リテラシーや科学的リテラシーは、引き続き世界トップレベルにあるものの、読解力については、前回の 2015 年調査より平均得点および順位が低下している。」とのこと。私は、順位に特にこだわるつもりはありませんが、確かに子どもの読解力や文章を作る力は、一般的に低下しているなどは感じています。これは、子どもだけの責任ではなく、子どもを取り巻く環境を作っている大人にも、大いに責任はあると思います。しっかり文章を読んで、深く考えることをさせているのでしょうか？パッと見て、瞬間的に分かるようなものしか提供していないのではないのでしょうか？テレビを観ていても、同じようなことを感じます。最近のテレビ番組は、やたらと字幕が出てきます。その字幕に色をつけたり動かしてみたり…。確かにその方が伝わりやすいのかもしれませんが、子どもの考える力をつけさせるためにはどうかな、と思います。（テレビ関係者の皆様、申し訳ございません。）

私も、時々、授業の様子を見に行きます。そこで、子どもたちの発言を聞いていると、「あの子、よく言葉を知っているな。」と感ずることがあります。後で担任の先生に話を聞いてみると、「よく本を読んでいますから。」と。やはりそうです。本を読んでいる子は、いろんな言葉を知っているのです。PISA の調査でも、「読書習慣のある生徒の方が平均点が高い。」という結果が出ています。（容易に想像できますね。）本を読むことはとても大切なのです。最近、すっかり定着した SNS では、どうしても単語や短文、絵文字が多く使われがちです。このようなやりとりだけでは、読解力や文章力はなかなかつきにくいのではないのでしょうか。（私は決して SNS を否定するわけではありません。それはそれで使い方を考えれば、大変有効なものだと思いますので。）このようなことについて、先日、お渡し致しました「携帯電話、スマートフォンの使い方（お願い）」の内容も含め、それぞれのご家庭で、お子様とお話をいただければ幸いです。

◇東門にパンジーを植えました！！

本校では、例年、緑の羽根募金をしています。児童会の子どもが玄関に立ち、協力を呼びかけるのです。その一部が学校に返ってきて、学校の緑を増やすことに使われます。今回は、パンジーを買い、東門の両側に植えましたので、学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。



用務員さんにサポートしていただき、児童会と栽培・美化委員会の子どもたちが植えました。